



くれよん もり組 7.8月号



連日の暑さが厳しい季節の中、「あつーい！」と言いながらも、わらべうたや鬼ごっこ、虫探し等に忙しく体を動かしている子ども達です♪毎日バルコニーで育てているお野菜を見て「大きくなってね!」「お花が咲いたからもう少しでお野菜になるかな?」と友達と嬉しそうに会話している様子が見られます!6月には紫陽花の制作に挑戦してみたり、新しいボードゲームのルールを覚えたりなど、色々な事に興味を持ち取り組む姿はとっても素晴らしいです💎

朝のお集り、食事やお野菜を育てるグループ活動などが始まり、大人の言葉を聞き活動に取り組むことができるようになってきています

今回のくれよんでは3歳児の発達で大切な【話を聞く力】をお伝えしたいと思います♪

1~2歳頃になると、「自分以外の人は、自分とは違う考えや気持ちを持っている」ということを理解し始めるといわれ、自他の区別がつくようになってきます。3歳頃になると言葉のやりとりがスムーズになり、子ども「これはなに?」おとな「これはカメさんだよ」子ども「カメさんって、ゆっくり歩くんだね」のように、会話のキャッチボールができるようになります。会話のキャッチボールができると、「相手の話を最後まで聞く」というルールを理解できるようになります。3歳児はまず「聞くこと」を「楽しむこと」が大切です。3歳ごろになると興味のあることに対しては集中して「聞く力」を発揮します。興味を持つ内容の話をして、こどもたち自身が「聞くこと」を楽しめるようにするのが大切です。「聞くこと」を楽しむために、大人はこのような注意をしながら伝えています。●ゆっくりとていねいに話す●こどもが想像をしやすいように具体的な例を入れて話す●落ち着いた気持ちのときに話す●子どもが話す言葉をしっかりと聞き、共感をする

安心して会話のキャッチボールをすることができるようになると「聞くこと」が楽しむことにつながります。そこから育つ力が次の5点になります。

★集中力が育つ

「話を聞く」ということは、相手の話を集中して聞き、その内容を正しく理解しようとするをいいます。相手の話を聞こうとすることで「集中力」が鍛えられ、たくさんの音のなかでも「聞きたい音」「聞き流していい音」を取捨選択することができるようになります。

★想像力・共感が育つ

相手の話を集中して聞くことで、言葉に隠された「相手の考えや気持ち」を想像することができるようになります。相手の考えや気持ちを正しく理解しようとするため想像力や共感が育ちます。

★語彙力が育つ ★読解力が育つ

相手の話をしっかりと聞くことで、たくさんの言葉にふれることができます。集中して聞いた言葉は脳にインプットされて、語彙力が増えることにつながります。

相手が話した文章を「どんな内容で、なにを伝えているのか」と分析して理解することで、読解力が身につきます。自分で絵本や教科書などを読むようになる事も大事だと言われています。

★コミュニケーション力が育つ

相手の話をしっかりと聞き、内容を理解し会話のキャッチボールをすることで、人とコミュニケーションをとる機会が増えます。「聞く力」が身につけば、相手の話の内容理解や応答(リアクション)がスムーズにおこなえて、ゆたかなコミュニケーションができることにつながります。

上記でお伝えしたことは、大人でも難しいと感じる事です。保育園の日々の生活の場面で子ども達と一緒に考えたり伝えて行けたらと思います。